

## 停電時に太陽光の電気を使う方法

太陽光発電システムは、普段は電力会社とつながって、電気を売り買いする「**連系運転モード**」になっています。停電時に電気を使用するためには、これを「**自立運転モード**」に切り替えます。「**自立運転モード**」に切り替える方法は、メーカーによっても異なりますが、おおむね下記のようになります。

**※注意※ 停電時は、まず、メインのブレーカー、太陽光発電のブレーカーを切っておきましょう。停電から復電後、通電火災を引き起こす場合があります。**

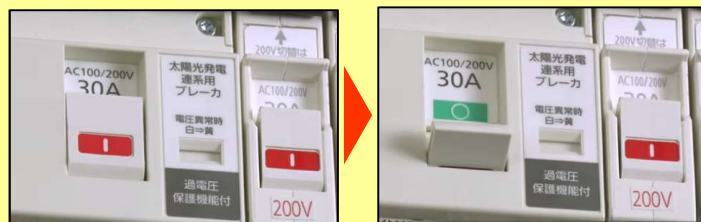
### 手順 (画像例: パナソニック)

- ① 「**運転/停止**」ボタンを押し、**運転を停止**する

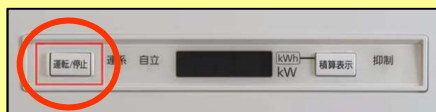


パソコン。分電盤の近くにありますが。

- ② 分電盤の太陽光発電システム**専用ブレーカをOFF (切)**にする



- ③ 再度「**運転/停止**」ボタンを押し



延長コードがあると便利です。

これで切り替えは完了です。  
電化製品を使用するためには、**自立運転用コンセント**に電源コードをつなぎます。

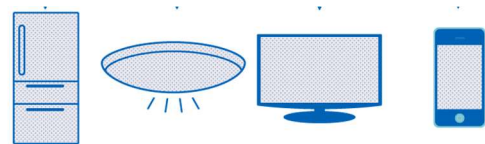
※壁のコンセントにプラグを差し込んでも、使えません。



ほとんどは、側面にコンセントがあります。

**自立運転モードでは、AC100Vで最大1500Wまでの電気を使用することができます。**

どのくらい使えるかというと、冷蔵庫・電気ポット・照明・携帯電話の充電などに使えます。消費電力が大きいエアコン（100Vタイプのみ）は、発電量によって不安定になるので、単独で使ってください。



自立運転モードで電気を使用できるのは、太陽が出ている昼間だけです。自立運転モードの場合、日が沈むと運転が自動的に停止してしまいます。翌日も停電が復旧しない場合には、再度運転スイッチを入れて、運転を開始させましょう。



電気が復旧したら、「**連系運転モード**」に戻しましょう。手順は、自立運転モードに切り替えた場合の逆になります。最後にブレーカーを戻します。

やり方が分からない、切り替わらない等、お困りの際は当店にご連絡ください！